

しまね 労福協 ニュース

2026 新年号

No.436

発行／一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
 発行人／門脇 大地
 〒690-0007 松江市御手船場町 557-7
 TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303
 ホームページアドレス：https://shimane.rofuku.net/
 Eメール：rofuku@gaea.ocn.ne.jp
 発行月（6・10・1・3月発行）



新年あいさつ

一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
 理事長 須田 晋次



新年あけましておめでとうございます。

多くの皆様から、島根県労働者福祉協議会に対しご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

島根県労福協は、1972年に労働団体・労働金庫・全労済・生活協同組合等が、労働者の幸福を追求し、「相互扶助・共助の活動体」として設立した労働者自主福祉組織であり、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をめざす」との目標を掲げ、年間を通じて様々な活動に取り組んでいます。

島根県労福協の主な活動は、次のとおりです。

生活相談・労働相談を行う「くらしサポートセンター事業」、中高年齢者や女性への就職相談や職業紹介を行う「就職サポートセンター事業」、ライフプランセミナーの開催、各地区労福協による社会貢献活動（ボランティア活動）、労働者自主福祉運動（労金運動・労済運動）の取り組み、労働会館の管理運営など、勤労者・生活者のための活動に取り組んでいます。また、「NPO法人フードバンクしまね」の活動に対する支援にも力を入れています。

「福祉とは、公助による生活の安定や充足」といわれるように、社会生活における支えの基本は言うまでもなく「公助」です。したがって、「共助」は本来「公助」を補完するものであるべきです。しかし、昨今の「自己責任論」の強まりなどの風潮から、「公助」を縮小することへの肯定ばかりか、「共助」への参加を拒む考え方なども拡がりつつあることに懸念を感じている方も少なくないのではないのでしょうか。

労福協は、「相互扶助・共助の活動体」としての活動にとどまらず、島根県をはじめとする行政機関への要請行動などを通じて、「公助」の維持・充実への働きかけを行うことも重要な役割であると考えます。そうした活動にも力を入れてまいりたいと思います。

島根県労福協は、県民の福祉の向上をめざし、皆様から必要とされる存在であるべきとの自覚を持って、社会のセーフティネットと支え合い・助け合う地域づくりにむけ諸活動を進めてまいります。そのためには、引き続き構成組織・会員の皆様からのご協力のもとより、行政機関や地元経済団体との連携を一層強め、そして何より、多くの県民の皆様からのご理解をいただくことが必要でございます。

本年も、島根県労福協をどうぞよろしくお願いいたします。

事業団体等



中国労働金庫
 北部エリア営業本部
 本部長
 仲田 敏幸



こくみん共済 coop
 島根推進本部
 本部長
 原田 圭介



連合島根
 会長
 景山 誠



島根県生活協同
 組合連合会
 会長理事
 矢倉 淳

地区会長



安来地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 田中 環樹



松江地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 山根 拓也



雲南地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 永海 正幸



出雲地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 永田 智史



大田地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 柿田 賢次



江津地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 岡本 卓



邑智地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 多々良慎吾



浜田地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 平野 裕人



益田地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 大森 潤一



隠岐地区
 労働者
 福祉協議会
 会長
 木村 武司



謹んで初春のお慶びを申し上げます。
 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

就職サポートセンター島根(松江・浜田) くらしサポートセンター島根 労働会館(ろうかん)



島根県へ2026年度政策・制度要請を実施

11月18日（水）島根県庁において2026年度の政策制度要請を行いました。

県労福協からは、須田理事長（連合島根副会長）、成相副理事長（前 連合島根会長）仲田副理事長（中国労働金庫北部エリア営業本部本部長）、原田副理事長（こくみん共済 coop 島根推進本部本部長）、金坂専務理事、門脇事務局長の6名が参加。県からは丸山知事、周藤女性活躍推進課統括官、石橋商工労働部長、今岡政策企画監室次長、狩野雇用政策課長に対応いただきました。

冒頭、須田理事長から「平素より島根県労福協の活動に対しご理解とご支援をいただいていることに感謝する。島根県労福協は共助の輪を広げながら就労こそ最大の福祉の考え方で活動を行っている。経済格差の広がる中、公助、共助が連携をもった支援の必要がある。今後の県政に反映いただけるようお願いしたい。」と挨拶し、引き続き金坂専務が下記の要請内容の趣旨について説明を行いました。



- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 「労働者福祉運動の育成・強化」について | 5. 格差の是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化 |
| 2. 中高年齢者及び女性の就労支援事業の継続について | 6. 消費者政策の充実強化 |
| 3. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化 | 7. 安心、信頼できる社会保障の構築 |
| 4. 持続可能な社会づくりに向けた協同組合の育成・支援 | |

丸山知事からは「島根県労福協には勤労者福祉の向上にサポートをしていただいている。また県からの委託事業など勤労者目線で展開していただいていることに感謝する。今回の要請は重要な課題で県としても取り組まないとけない課題と思っている。今後とも島根県労福協とともに勤労者・労働者福祉の向上に努めたい」との挨拶を受けました。

要請事項の回答は2026年1月末日を要望しています。

フードバンクしまね「あったか元気便」の活動について

2025年冬休みに向けての取り組みでは、11月末集約のフードドライブにおいて約49キロもの食料品を提供いただきました。そして、お米の価格が高騰している中、11月10日、連合島根より社会貢献活動の一環として玄米810キロを寄附していただきました。また、個人の方々からも多くのお米・玄米をいただきお米についても何とか確保することができました。

パッキング作業は、12月9日から17日までの間の計5日間で行い、延べ383人の皆様にご参加いただき、644世帯の就学援助世帯に食料品をお届けすることができました。

フードドライブ、パッキングボランティアにご協力いただきました連合島根をはじめ松江地区労福協、各労働組合、中国労金、こくみん共済 coop の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

引き続き、フードバンク活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



連合島根よりの玄米810キロ



パッキング作業



フードドライブの食料品

2025年度 福祉事業団体利用拡大キャンペーンの中間実績報告

「福祉事業団体利用拡大キャンペーン」は10月から12月の3カ月間を設定しており、10月7日（月）に県労福協、中国労働金庫、こくみん共済 coop の三者で松江市内産別組織（連合島根、UAゼンセン島根県支部、JAM山陰、山陰電力総連、島根県高教組、交通労連島根県支部、自治労島根県本部、電機連合島根県地域協議会、運輸労連島根連合会、情報労連島根県協議会、JP労組島根県連絡協議会（訪問順））を訪問し、協力要請を行いました。今年度も要請をより効果的なものにするため各組織トップ（理事長、本部長）による訪問としました。

各地区労福協の中間実績（11月末実績）を下記のとおり報告します。

各地区の実績に濃淡が見られますが、年度末の目標達成に向けて、地区労福協、労金部会、労済部会、中国労金、こくみん共済 coop が一体となって取り組まれるよう意思統一をお願いします。

また、今年度は、地区労福協・ろうきん・こくみん共済 coop と連携して「家計の見直し運動」に関するセミナーを各団体へ開催要請しています。「家計の見直し運動」セミナーの開催・予定状況をP3下段に、益田・安来地区労福協で実施されたセミナーの開催報告をP4に掲載しています。

2025 福祉事業団体利用拡大キャンペーン 取り組み目標（2025年10月～12月）と中間実績（11月末実績）

〈中国労働金庫〉

(件)

内 容 地区名	他社ローン借換件数 (有担保・無担保・マイプラン)			エース預金・財形貯蓄 新規契約件数		
	期間目標	実績	達成率	期間目標	実績	達成率
安来	31	3	9.7%	67	8	11.9%
松江	53	18	34.0%	75	64	85.3%
雲南	12	4	33.3%	39	13	33.3%
出雲	42	8	19.0%	188	44	23.4%
大田	10	1	10.0%	47	14	29.8%
邑智	2	0	0.0%	10	0	0.0%
江津	5	1	20.0%	15	6	40.0%
浜田	8	3	37.5%	20	10	50.0%
益田	7	1	14.3%	29	18	62.1%
隠岐	4	2	50.0%	9	6	66.7%
合計	174	41	23.6%	499	183	36.7%

〈こくみん共済 coop〉

(件)

内 容 地区名	マイカー共済 見積目標			住まいる共済 見積・アンケート		
	期間目標	実績	達成率	期間目標	実績	達成率
安来	28	21	75.0%	11	1	9.1%
松江	58	24	41.4%	34	8	23.5%
雲南	30	8	26.7%	11	7	63.6%
出雲	41	22	53.7%	21	6	28.6%
大田	19	7	36.8%	7	6	85.7%
邑智	12	3	25.0%	5	1	20.0%
江津	18	3	16.7%	7	0	0.0%
浜田	19	7	36.8%	9	2	22.2%
益田	33	15	45.5%	10	4	40.0%
隠岐	11	3	27.3%	9	4	44.4%
合計	269	113	42.0%	124	39	31.5%



「家計の見直し運動」セミナー取り組み状況



2025年12月17日時点

地区	セミナー対象団体	開催日(開催予定日)	参加人数(予定人数)	地区	セミナー対象団体	開催日(開催予定日)	参加人数(予定人数)
安来	安来地区労福協幹事会	11月28日	10名	大田	大田地区労福協	10月17日	20名
松江	松江地区労福祉事業団3団体合同会議	10月15日	38名		大田市職	(1月開催予定)	—
	島根県企業局職員組合(県職連合)	12月19日	21名	邑智	邑智地区幹事会	11月6日	11名
雲南	雲南地区労福協ろうさい部会	11月26日	10名	江津	江津地区労福協幹事会	(1月開催予定)	—
	三刀屋金属労働組合新役員セミナー	12月13日	7名	浜田	浜田地区幹事会及労金部会労済部会役員	12月16日	18名
出雲	出雲地区労福協	12月10日	16名	益田	益田地区労金・労済部会合同会議	10月22日	20名
	出雲市職	(1月開催予定)	—		ダイワボウ労組運営委員会	11月20日	10名
				隠岐	隠岐地区労福協幹事会	10月9日	12名

「家計の見直し運動」について

詳しくは労福協ホームページ、または
右記の二次元コードよりご覧ください。



「家計の見直し運動」について

🔍 島根県労福協 検索



「家計の見直し運動」セミナー開催報告

益田地区労福協 開催報告

中国労働金庫益田支店 支店長 大野建一

まずは労福協幹事および加盟団体の理解を得ることから始める目的で、「労金・労済部会合同会議」を開催し、出席者に向けて各事業団体から「家計の見直し運動」セミナーを実施しました。ろうきんからは、労働者の夢の実現のためのコツとして固定費の見直しを提案しました。住宅ローン・車のローン・カードローンの見直しポイントについて事例を交えて説明し共感を得ました。こくみん共済 coop からは、車の補償・住まいの保障の選び方として、車の補償では割引制度を活用し掛金を抑える方法や、住まいの保障では被害のほとんどが自然災害によるものであることを力強く説明しました。最後に「家計の見直し運動」を地域全体に広げるため、各団体でセミナーを開催していただくよう要請しました。現在は各団体の諸会議等において小規模のセミナーをコツコツと実施しています。



中国労働金庫益田支店 大野支店長

こくみん共済 coop 西部支所 深江支所長

「家計の見直し運動」の取り組みについて

益田地区労福協 会長 大森潤一

益田地区労福協において10月22日に合同会議を開催し各単組の代表者の方へ「家計の見直し運動」についてろうきん・こくみん共済 coop より説明を行いました。そして各単組での開催をお願い致しました。

これからも労福協としてより良い情報を皆様にお届けし生活に役立てて頂く為、活動を行って参ります。

安来地区労福協 開催報告

安来地区労福協 事務局長 高塚将史

の一環として各地区で展開される「家計の見直し運動」セミナーの第1回目を11/28(金)に労福協幹事を対象に実施しました。セミナーでは、こくみん共済 coop より、割引制度も活用しながら不足のない“車の補償の選び方”や、住まいの被害の原因の大多数が自然災害によるものである実態を踏まえた“住まいの保障の選び方”について説明がありました。ろうきんからは、労働者一人ひとりのライフプラン実現に向け、固定費の見直しなどによる可処分所得の向上につなげるコツを中心に解説いただきました。セミナー終了後、参加者からは「自分自身の“車の補償・住まいの保障”について把握できていない部分があった。まずはしっかりと確認し、見直す良い機会となった」といった感想が寄せられ、大変有意義な内容となりました。

今後は、労福協幹事の所属団体でのセミナー開催を計画し、引続き会員とそこそご家族の福祉向上に努めていきます。



こくみん共済 coop 津村事業推進部長

中国労働金庫安来支店 畠中代理

一人でも多くの組合員へ

安来地区労福協 副会長 松本 均

安来地区労福協ではこれまでも所属団体独自の取り組みとして行ってきました。今回、県労福協が主体となった取り組みであることから一人でも多くの組合員へより良い情報を伝えていけるよう活動を行って行きます。